



体育祭を、3年生という立場で迎え、学び取ったことがたくさんあったようです。それぞれの立場で立派に行事を変えました。

ブロック長 Nくん

僕は、体育祭でブロック長になろうと去年から決めていました。初めは、正直とても楽しみでワクワクしていました。しかし、いざ練習となるとだんだん自信やワクワク感がなくなって、その代わりに「大丈夫かな」「ちゃんとまとめられるかな」という気持ちが強くなりました。

ブロック長 Tくん

3年生が中心となり、引張っていくわけには、その中でもブロック長を任せられ、初めは「僕がまとめられるかなあ」と不安な気持ちがありました。しかし、やっているうちに副ブロック長や皆が支えてくみ、いくつかの問題点はあったけれど、上手に出来たんじゃないかと思いました。

みんな

今回の体育祭で学んだことは、不安と戦う難しさです。ほんとうにこんなのが本番に間に合うのかという不安が大きい中、計画を立て、それを実行していくことが難しいということです。しかし、それをあらかじめ決めてしまえば、途中で終わってしまいます。みんなの思いで、素晴らしい体育祭にすることができると感じました。

皆より練習時間が少ないなかで、分かりやすく、細かく、19オームスのことや、競技の作戦などを教えてくれたり、変更点があればすぐ伝えてくれました。3年生のブロックのおかげで無事終えることができました。

(保護者のみなさま)

グラウンドの環境整備、体育祭後の片付け応援ありがとうございました。

(11月には、授業参観の進路説明会)文化祭と行事が他にもたくさんあります。よろしく願います。

みんな

貸り物競争の紙を書く時間がなくて、家で47枚書きました。

ダンスの知識がなく、不安な状態からはじめました。実際取り組んでみるとその気持ちも忘れるほど楽しい活動だったと思います。

部活を引退したからか、しっかりと体は動いてくれませんでした。

僕は役割についておらず、これといった仕事はなかった。それでもみんなの負担を減らすために、すぐに行動したり、手伝ったりした。しかし注意されることもあった。やる気はなかったわけでもないけれど、みんなの足を引張らないようにがんばっていたけれど、どこかしかりできていないところがあったのだろう。注意されてから、少しでも役に立たなければともろとしかりするようになった。これからも「3年生という自覚を思い出して、きびきび行動したい。」